



平成25年度キャリア教育推進連携シンポジウム

「キャリア教育実践による効果について
～学校の視点から～」

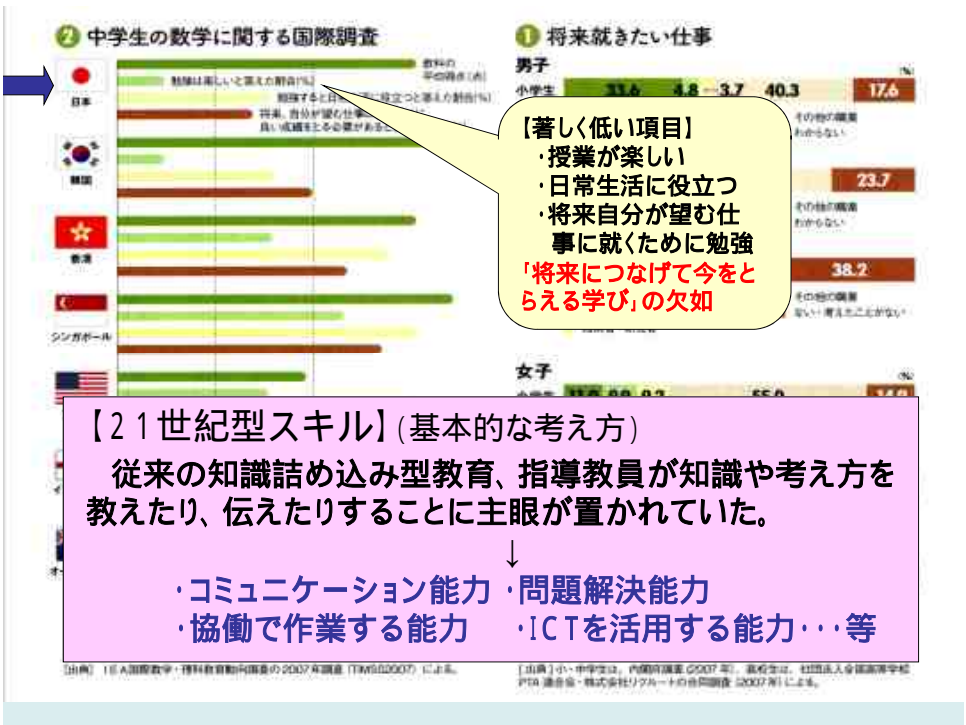
平成26年 2月 21日
荒川区立諏訪台中学校
校長 清水隆彦

(1) 中学校現場から・・・なぜ今キャリア教育が必要なのか

- 【現在の社会問題】
- ・ニート、フリーター問題(63万人・過去最高 6/18「子供若者白書」)
 - ・未就職者、離職率の増加
 - ・不況の影響を受ける就職戦線の厳しい現実
 - ・社会人として求められる力の欠如
 - ・先送りされるキャリア教育・・・等

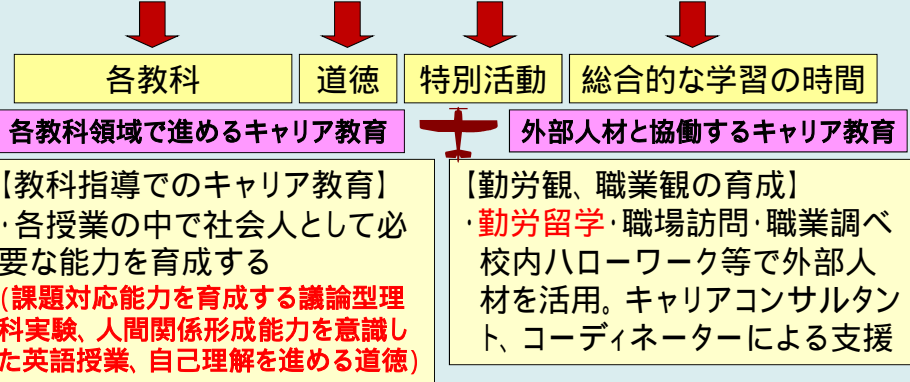


- 【国際調査から見える日本の課題】
- PISA型(学習到達度調査)で見える課題
- ・自分への自信欠如・自らの将来への不安・体力低下・・・等
- IEA国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)で低い項目
- ・授業が楽しい
 - ・日常生活に役立つ
 - ・学習は将来のため



全ての教育活動でキャリア教育の実践が必要

- 【基礎的・汎用的能力の育成】(社会人として必要な力)
- ・人間関係形成・社会形成能力
 - ・自己理解・自己管理能力
 - ・課題対応能力
 - ・キャリアプランニング能力【必要な能力をどう伸ばすか】



第三中学校(諏訪台中学校)のキャリア教育の捉え

「社会人・職業人・地域人の育成」と定義

全教育活動で3つの人を育てる教育計画を推進する

学校経営方針：「全教育活動をキャリア教育の視点で捉え、
【目指す学校像】 基礎的・汎用的能力を育成する学校」

地域コミュニティやNPO、キャリア教育コーディネーター、
キャリアコンサルタント…等、外部人材との連携が必要。

単なるイベントではなく、学校経営方針に基づいた目指す
生徒像に向け、3年間の指導計画に基づいた意図的、計
画的な取り組みでなくてはならない。

実践事例：「校内ハローワーク」

毎年30業種以上のゲストティーチャーを迎え、3講座受講する。
3年間で9業種を巡る。社会人を知ることが毎日の生活に生きる。



【ねらいの明確化が重要】
↓
職業講話を通じて中学生の
今、何を努力すべきかを考える
機会とする。学校生活を見直す
職業理解、職業との出会い



【ねらいの共通理解こそが行
事の質・意義を高める】
↓
1時間に及ぶ綿密な講師との
打ち合わせが成功へと導く



平成25年度学校パワーアップ
全体構想図
・キャリア教育の視点で推進

全教育活動をキャリア教育4領域
の視点で実施する。

外部人材と協働する体験活動…
「校内ハローワーク」「勤労留学」等
を一層発展させる

図書館学習センター化による
キャリア教育の推進

授業力向上プロジェクトをキャ
リア教育の視点で推進

キャリア教育コーディネーターとの協働が継続的な実施につながる



平成25年10月5日
諏訪台中学校
「校内ハローワーク」全
体会(開会式)

キャリア教育コーディネ
ーター 2名

【学校側の窓口】
分掌を超えた特命担当
を配置
…
「校内ハローワーク
特命担当」

(成果) 教員とは違う目線が新しい職業との出会いを広げる。
1年間に及ぶ準備期間で教員が外部人材、社会が求め
能力、課題を共有できる。

平成25年10月5日 諏訪台中「校内八ローワーク」30業種実施



マーケティングの仕事



インテリアコーディネーター



クッキーパティシエ



機械エンジニア



経営コンサルタント



会社経営者

3講座は、1講座は希望した職業、2講座は機械的に割り振る



全体会での質疑応答

【生徒の感想より】

- ・心に響いて明日からの生活が変わりそう。
- ・想像していたより仕事は厳しそう。
- ・面白そうな仕事がたくさんあることを知る機会となった。

【講師より】

- ・生徒の目が輝いていたのが印象的だった。
- ・中学校時代にこのような授業が受けられてうらやましい。自分も体験したかった。
- ・自分の仕事の意義を改めて見つめ直し、初心に戻ることができた。

【教職員より】

- ・社会で活躍する大人の言葉が生徒の心に届き、日常生活の改善につながる期待ができる。
- ・講師のお話が自分の指導にも役立つそう。連携できてよかった。

実践 おもしろ探求授業(各教科の専門家による授業例)



(ハワイ天文台との中継授業)



(オリンピック選手による体育授業)



(遺伝子、ゲノム授業)



(深海の世界授業)



「味覚授業」 味の素株式会社
営業企画グループ 阪田博之 先生



「エコ発電授業」東京電力 地域コミュニケーショングループ 宮田 謙二先生



「エコッキング授業」
東京ガス株式会社 高橋 順子 先生

【研究者、企業人より】

教科への興味関心を高め
職業のおもしろさを学ぶ。

実践 諏訪台中学校、平成26年1月27日～28日 家庭科
 教科での外部人材(家庭科の調理実習に地域人材を活用)
 【ホテルラングウッドシェフと家庭科教諭の協働授業】



実践 諏訪台中学校(平成24年1月13日)
 職場訪問を前にしたキャリアコンサルタントによるマナー教室



【行事をつなぐ外部人材の活用】
 キャリアコンサルタント
 キャリア教育コーディネーター



実践 : 地域資源との『つながり感』を生かす取り組み
 勤労留学(5日間の職場体験)・・・9年前より全中学校で実施



【完全5日間職場体験実施へのプロセス】
 教職員による地域とのネットワークづくり
 荒川区商工会議所の皆さんの支援
 行政機関が受入事業書リストの作成等で積極的な学校支援
 町会長、自治会長、商店会長等、地域人材の支援

【実施後の変化】
 ・地域の皆様、受入事業所の皆様の意識が教育支援から教育参加へ
 ・教員の勤労留学の成果からキャリア教育への参画意識の高まり

事例 素材は地域にある(地域人材との協働の可能性)



京成バス 利用者調査



「スーパーマーケット サントク」
 フードマイレージ調査



JR貨物駅・物流調査



地元企業の皆さんとまとめ作業

教科指導で行うキャリア教育(基礎的・汎用的能力の育成)

平25・26年度 荒川区授業力向上プロジェクト事業研究指定校

4つの分科会に分け、授業力向上に向けた実践と検証を行う(仮)
人間関係形成能力グループ
 授業の中にグループワークを取り入れ、討論型理科実験、討論型社会科授業・・・等で議論に基づく授業の在り方を探る。

ICT機器活用授業グループ
 これまでの実践を基に電子教科書を活用しつつ、電子黒板活用を意識した授業改善に取り組み、ICT機器(タブレット)活用の授業改善を中心に授業改善。

学校図書館活用授業グループ
 学校図書館の活用を更に進め、コラボレーション授業(図書館司書と教科担任の協働授業)を実践する中で、中学校における「調べ学習」を中心とした図書館活用授業の在り方を探る。

外部人材活用授業グループ
 外部人材を活用した理科実験等、学ぶ意欲を高める外部人材活用授業を研究し、適切な協働授業の在り方を探る。

各教科の授業で活用する要素、育てたい能力を全ての指導案にマトリックスで示し、授業実践と授業方法の検証を行う研究

要素	①人間関係形成能力 能力視点 (協議型授業)	② ICT機器 活用授業視点 (電子黒板・タブレット活用授業)	③ 学校図書館 活用授業視点 (学校図書館、書籍活用授業)	④ 外部人材活用 授業視点 (教科、キャリア専門家・・・等)
基礎的・汎用的能力				
人間関係形成・社会形成能力	○			
自己理解・自己管理能力		○		
課題対応能力				○
キャリアプランニング能力			○	

横軸【要素】
4つの柱となる要素を位置づける

縦軸【キャリア教育】
基礎的・汎用的能力4能力を位置づける

平成25年度理科内研集会・荒川区授業力向上プロジェクト事業
 英語科学習指導案(日)平成25年6月14日(金) 講師:台中学校授業者: 山崎 聡
 指導案(一部抜粋) 3 キャリア教育の観点

「人間関係形成・社会形成能力」は「多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正解に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することが出来る力である。」と定義されている。英語の授業では、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等の育成を意識して指導している。

グループ	人間関係形成能力 (協議型授業)	ICT機器活用授業 (電子黒板・タブレット活用授業)	学校図書館活用授業 (学校図書館活用授業)	外部人材活用授業 (教科、キャリア専門家)
基礎的・汎用的能力	A	B	C	D
人間関係形成・社会形成能力	相談、発表活動			ALT
自己理解・自己管理能力	発表活動		資料選定	
課題対応能力	発表活動	ICT機器での例示	発表活動	
キャリアプランニング能力				

「基礎的・汎用的能力」の育成に特に関連する外国語(英語)科の指導内容 ※キャリア教育の学習意欲より

展開の場としての役割	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
自分の気持ちや考えの伝わりやすさを高めること、相手の考えや感情を察して、適切な反応を返すこと、コミュニケーションを促すような活動を仕掛けること	「聞くこと」 → 相手や自分の感情を察して、適切な反応を返すこと、コミュニケーションを促すような活動を仕掛けること	「聞くこと」 → 相手の感情や考えを察して、適切な反応を返すこと、コミュニケーションを促すような活動を仕掛けること	「読むこと」 → 相手の感情や考えを察して、適切な反応を返すこと、コミュニケーションを促すような活動を仕掛けること	「読むこと」 → 相手の感情や考えを察して、適切な反応を返すこと、コミュニケーションを促すような活動を仕掛けること

要素 学校図書館学習センター化推進(キャリア教育の視点)

- ・学校図書館を活用した学校司書とのコラボレーション授業を全教科で実施
- ・必要な情報を多くの書籍より調べ込む能力の育成
- ・授業に生きるレイアウト変更



整備された図書館



図書館司書とのコラボ授業(英語)



理科のコラボ授業

学校図書館の情報センター化

学校図書館はキャリア教育の拠点

ファイルコーナー



新聞コーナー

- ・調べ学習の充実
- ・図書館活用授業

荒川区郷土資料



備急げ

司書と蔵書は是れが重要



本を読もう

新春県談 学校図書館改革元年に



東京・荒川三中
開館年250日

学習の中心 授業とコラボ

平成23年1月12日
読売新聞より

【キャリア教育の視点で
学校図書館改革】

- ・図書館学習センター化
- ・情報センター化

【社会人として必要な能力】

情報収集力・分析力を
養う学校図書館活用
言語能力の育成
クリティカルリーディング

21世紀型スキルを意識した授業改善

一人1台のタブレットを全教科領域で活用

道徳: 全員の意見を集
約考え方をぶつけ合う



美術: 写楽とミロのピ
ナスの描写を比較



保健体育: 跳び箱指導で動画
を記録し全員で課題を協議、
課題対応能力の育成



中学校教育におけるキャリア教育推進のポイント

学校側が目指す生徒像に向け、何をどう実施するのか3年間のキャリア教育指導計画に目的をしっかりと位置づける。その上で、外部人材と行事の目的、手法の情報共有を行う。

行事をゲストに全委任するイベントではなく、学校の教職員と外部人材が教育活動としての役割分担を明確に位置づける。

各教科、領域指導でいかにキャリア教育を推進し、授業の質を高められるか。キャリア教育の視点を指導計画にどのように盛り込み、評価、検証するのか。

情報収集力・分析力のスキルを養う学校図書館の学習センター化事業の推進(コラボ授業等)

産業界との連携。キャリア教育支援の外部団体の設立。一方通行ではない双方向の職場体験・・・等の企画。

中学校におけるキャリア教育実践による効果

小中学校のキャリア教育をベースとした一貫した学習プログラムの作成と実践により、地域人、社会人、職業人を意識の高まりと系統性のある教育活動に結びついた。

キャリア教育コーディネーターやキャリアコンサルタントの専門的人材活用により、これまで以上に外部企業、外部人材との結びつきがスムーズになり広がりを見せた。

基礎的・汎用的能力を意識した授業改善により、授業の質を変えている。(活用する要素と育てたい能力のマトリックス)

生徒にとって外部人材と協働で創り上げた各種行事が、**将来を見据えて今の学びや生活を見直す機会**となっている。

教職員が外部人材と協働で作業することや意見交換の中から課題の共有化が図られ、**将来求められる能力を意識すること**で今の指導を見直す機会となっている。

キャリア教育推進で教育の質を高める

